

科目名 家庭基礎

単元名 A 人の一生と家族・家庭及び福祉

内容のまとめり (4)高年齢期の生活と福祉

1 単元の目標

- (1)高年齢期の心身の特徴、高年齢者を取り巻く社会環境、高年齢者の尊厳と生活自立の支援や介護について理解すると共に、生活支援に関する基礎的な技能を身につけ、実践できる。
- (2)高年齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして、課題を解決する力を身につける。
- (3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高年齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
高年齢者の心身の特徴、高年齢者を取り巻く社会環境、高年齢者の尊厳と生活自立の支援や介護について理解しているとともに、生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。	高年齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について、問題を見いだして課題を設定し、他者と協議し、グループで協力して解決策を構想し、考察したことを論理的に表現するなどして、課題解決に向かおうとする姿勢を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高年齢期の生活と福祉について、主体的に課題を発見し、振り返って改善し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

3 指導と評価の計画

時間	【ねらい】・学習活動	重点	記録	備考（・は評価規準（ ）は評価方法
<p>【単元を貫く課題】 超高齢社会を自分事として捉え課題意識をもつ。今、自分ができることを考える。</p>				
1 2	<p>【ねらい】 超高齢社会の現状や課題について理解する。</p> <p>〈ロールプレイング〉 高齢者と家族関係についてのロールプレイングから、高齢社会の課題を見つける。 ・既習事項とつなげながら超高齢社会の現状を理解する。 ・振り返りシートに記入する。 ①大切だと思うこと ②もっと知りたい、考えたい・実践してみたいこと ③問い なぜ○○なのか、どうすれば○○できるのか ④今のところの答え 仮説（解決策）</p>	態 ① 知 ①	○ (★)	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイングから課題を発見しようとしている（ワークシート） ・超高齢社会について具体的に理解している。（定期考査）
3	<p>【ねらい】 高齢期の心身の変化、高齢者の生活その生活課題を理解する。</p> <p>〈人生の先輩インタビュー〉 ・祖父母や近所の方など身近な方へのインタビューから、老化による生活への影響を具体的にイメージする。 ・今、自分が支え手となることを考える。 ・今後の生活で大切になることを考える（生きるヒントをもらう） ・振り返りシートに記入する。①~④</p>	思 ①	○	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生活課題に気づくことができる。（ワークシート） ・高齢者の困りごとに対して、自分ができることを考えている。（ワークシート）

4	<p>【ねらい】 高齢者の生活を支える介護について具体的に理解する。</p> <p>〈ロールプレイング〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いすの扱い方の動画を視聴し、生活支援の基礎的な技術を身に付ける。 ・ロールプレイングを通して、認知症の方への介助について考える。 ・振り返りシートに記入する。①~④ 	思 ②	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイングを通して、認知症の方への対応を思考・判断できる。(ワークシート)
5	<p>【ねらい】 高齢社会を支えるしくみについて具体的に理解する。</p> <p>〈ロールプレイング〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祖父母の介護にどう対処するか、ロールプレイングを通して考える。(介護の担い手、介護費用など) ・介護保険制度・年金の理解をする。 ・振り返りシートに記入する。①~④ 	態 ② 知 ②	○ (★)	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイングから介護に関する課題を発見しようとしている。(ワークシート) ・介護保険制度、年金制度、介護サービスについて理解している。(定期考査)
<p>【ねらい】 超高齢社会を自分事とし、課題を発見し、解決する方法を考える</p>				
6 本 時	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの振り返りシートで立てた「問い」を整理し、超高齢社会の課題を発見する。 	態 ③		<ul style="list-style-type: none"> ・「問い」を知ることにより、新たな高齢者福祉の課題を発見している。(ワークシート)
7	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで決めた「問い」について調べ発表する。 ・自分自身はどの「問い」(課題)が重要か考え、そのためにできることを三段階掘り下げて考える。 ・振り返りシートに記入する。 ①大切に思うこと②もっと知りたい、考えたい・実践してみたいこと ③問い④解決策 	思 ③ 態 ④	○	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉の課題について、自分が今できることを考えている。(ワークシート) ・本時を振り返り、大切だと思ったこともっと知りたいことを考え、新たな「問い」を発見している(振り返りシート)(指導に生かす評価)

・ロールプレイングについて

地区家庭科担当者会議で教えて頂いた教材の他、次の図書を参考にした。

参考文献 「ロールプレイングを導入した新しい家庭科授業」教育図書

・「問い」づくりについて

高齢者福祉単元に入る前に「問い」をつくるワークをしている。学校司書と協働で授業を行い、図書室で「問い」をつくることについて学んだ。参考文献:「問いをつくるスパイラル 考えることから探究学習をはじめよう!」日本図書館協会

4 学習活動と評価方法（学習指導案）

科目名	家庭基礎	指導クラス	1年1組	
単元名	人の一生と家族・家庭及び福祉 高齢期の生活と福祉	使用教科書	家庭基礎 気づく力築く未来（実教出版）	
本時の主題	超高齢社会を自分事とし、課題を発見する 6時間目/7時間（まとめの1時間目）			
指導観	<p>青年期を過ごす生徒たちは、高齢期については考えにくい状態にある。高齢者福祉の単元の授業では、自分の高齢期に向けて今できること、今の超高齢社会の中で自分が実行できることを考えることを中心としている。生徒の実態としては、社会で活躍する高齢者には出会うが、超高齢社会の実態を目の前にする機会も少なく、超高齢社会に生きる自分たちについては、具体的なイメージをもちにくい難い状態である。本時では、これまでの学習事項と関連させながら、超高齢社会の問題に対して、「問い」（課題）を整理し、今考える課題を発見する。そして次時に解決策を考えるということを通して、人生100年時代を自分事としてとらえ、その解決に向かおうとする姿勢を身につけさせたい。また、今の生活が高齢期の生活につながっていることを実感し、今からできることを考えさせたい。</p>			
本時の目標	<p>私たちの未来を拓く 人生100年時代について考える 超高齢社会を自分事とし、課題を発見しよう</p>			
過程	指導内容	生徒の学習活動	評価規準と評価方法	指導上の留意点
導入 5分	1.本時の学習目標確認	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 		<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習目標と進め方をつなげて説明する。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 超高齢社会を自分事とし、課題を発見しよう </div>		
展開 40分	2.問いを集める 3.問いの決定 4.課題を発見する	<ul style="list-style-type: none"> これまでの振り返りシートに書いた「問い」をグループで共有し、整理する。（3つの分野に分けて担当班を決める） 問いのチェックをする【グループ】 （自分たちで調べることができそうか、興味があるか、社会の役に立つか）重要だと思う「問い」を一つ決め、選んだ理由を共有する。 【グループ発表】 高齢者自身に関することと高齢者の支え手に関することに分ける。 各グループの発表から自分が重要だと思う「問い」＝新たな課題を発見する。（視点を広げる） 	評価方法 （ワークシート） 態③指導に生かす評価・「問い」を知ることにより、新たな高齢者福祉の課題を発見している。	<ul style="list-style-type: none"> これまでの振り返りシートと授業内容を振り返る。 高齢社会の課題は双方向から考えることが重要であることを伝える。
まとめ 5分	5.問いをキーワードにする	<ul style="list-style-type: none"> 問いをキーワード化し、広がった考えを収束する。 		<ul style="list-style-type: none"> 次時に解決策を探すことを伝える

(次時) 展開 45分	6.「問い」に対する解決策を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで決定した「問い」に対して資料を用いて解決策を考える。(「問い」について調べ始めることにより、課題解決の入り口を知る) ・各グループの発表【Meta Moji】 	<p>学校司書と協働 授業場所：図書室</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料準備：学校司書 ・資料を読み取るポイントを説明する。
	7.自分事と捉える	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身ほどの課題が最も重要か考える。そのため今できることを、三段階掘り下げて考える。【ワークシート記入】 	<p>評価方法 (ワークシート) 思③記録に残す評価 高齢者福祉の課題について、自分が今できることを考えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各班の発表に対し、質問をしながら発表内容を深めていく ・今大切なことを考えさせる。
まとめ 5分	8.まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・本時を振り返り、大切だと思ったこと、もっと知りたいことを記入する(振り返りシート) 	<p>態度④指導に生かす 評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の内容を踏まえて、新たな「問い」を発見している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートに具体的な行動を書く様に促す

【評価】(態度③)「問い」を知ることにより、新たな高齢者福祉の課題を発見している。

※指導に生かす評価

	学習活動における 具体的評価規準 (B)	「十分満足できる」と判断される 状況 (A)	「努力を要する」と判断される 状況 (C)
評価	他のグループの「問い」を知ることにより、新たな高齢者福祉の課題を発見している。	他のグループの「問い」から、新たな高齢者福祉の課題について発見し、高校生の立場からの関わり方など、自分事と捉えている。	他のグループの「問い」の発表を聞いたが、新たな高齢者福祉の課題を発見できていない。
生徒の状況	30% <ul style="list-style-type: none"> ・記述している課題の種類が増えている。 ・緊急の課題が何か考えている。 ・他の班の「問い」から気づきがある。 	70% <ul style="list-style-type: none"> ・高校生の自分たちもどのように高齢者を支えることができるのか考えている。 ・今から実践することを考えている。 	0%

記述例	<ul style="list-style-type: none"> ・どうすれば高齢者と上手にコミュニケーションがとれるのか→高齢者の気持ちを考え、どのように接するのが正解なのか知る必要がある。 ・どうすれば一人暮らしを減らせるかや年金制度、ヤングケアラーの問題は早めに取り組んだ方が良いと思った。 ・どうすれば一人暮らしを減らせるか→高齢者の孤独感を減らし、一人暮らしの中の心配をなくすことは大切だと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ認知症になるのか→知ることができれば高齢者の認知症予防ができ、自分に対しても対策ができる。 ・どうすれば高齢者と上手にコミュニケーションがとれるのか→祖父との会話や街中で高齢の方とお話しする時に相手の方に安心感を与えられるか知ることが、今と今後の自分にすごく役立つ。 ・ヤングケアラーのためのサポート体制は何があるか→私たちがこれからヤングケアラーになることもありえるし、身の回りでもそういう子が出たりするかもしれないから、知りたいと思った。 	
-----	---	--	--

5 成果と課題

【授業内容について】

- ・高齢者福祉は、自分事となり難い分野であるが、「問い」を考えることにより、自分事になったと思われる。
- ・「問い」をグループで一つに決める過程が難しいが、重要度を考えるのに「問い」チェックは効果的であった。
- ・単元指導において、ロールプレイングを三回取り入れたことは、体験活動と捉えることができ、生徒が超高齢社会の課題を考えるのに有効であった。
- ・単元指導において、「問い」づくりのワークを取り入れたことは効果的であった。
- ・グループ活動、全体共有のあと、生徒の個人の意見を考え、グループ活動に戻る展開だったが、個人の意見の後、グループでの活動に戻ったことにより、個人が考えたことが生かされないの、その展開を考えていく。

【授業方法について】

- ・グループ活動が定着しており、生徒がグループ内での役割もすぐに反応し実行できている。
- ・生徒が考え続ける授業内容だったが、前向きに取り組んでおり、生徒が授業に向かう姿勢が良い。
- ・グループ活動の目標が明確であった。
- ・生徒は毎回の振り返りシートを文章量多く、しっかりと書けていた。
- ・振り返りシートの積み重ねが今回の授業につながっている。